

# 高齢者の生活を支える

**実践型**

## 地域づくり 支援プログラム 参加市町村募集

地域包括ケアの推進に向けた新しい市町村支援を始めます。

### 要支援者等の介護予防・生活支援の充実に向けて 成果を挙げたい市町村へ

- 地域ケア会議、総合事業、生活支援体制整備事業——  
制度移行に伴い、やるべきことはやってきた。
- でも、何かが変わっているという実感が得られない。
- 市町村としてやるべきことは、何なのか？

「このままでいいのか」という漠然とした不安を抱えた市町村の方は、  
ぜひ、**“実践型” 地域づくり支援プログラム**にご参加ください。

市町村の実情  
に応じた支援

有識者による  
サポート

他市町村との  
ネットワーク構築

参加費無料

#### 実施主体

**NTT Data**  
株式会社 NTTデータ 経営研究所



**藤田医科大学**

#### 協力機関

**厚生労働省老健局振興課、東海北陸厚生局、豊明市**

※本プログラムは、厚生労働省老人保健健康増進等事業 介護予防・日常生活支援総合事業及び生活支援体制整備事業の効果的な推進方法に関する調査研究事業の一環として実施しています。

## ● “実践型” 地域づくり支援プログラム 4つの特徴

### ① 実際の事業推進と直結する実践型プログラム

本プログラムは市町村の実際の事業を推進することを目的とした実践型プログラムです。

#### “実践型”プログラムの構成

プログラムの場での「学び」「気づき」を現場に活かし、市町村の取組を推進する

##### ● 講義・フィールドワーク

講師陣による講義を受け、フィールドワークを行う。



##### ● グループワーク

少人数のグループ制で、わがまちの取組について、講師陣と参加者が一緒に考えていく。



##### ● 現場実践

宿題や講師陣のヒントを基に、参加者が自身の市町村の中で実践を試みる。



### ② 市町村の現場を事例にフィールドワーク

保険者の視点だけではなく、藤田医科大学の医療・介護専門職や地域の関係者との対話を通じて、自立支援の哲学や関係者との意識統合のプロセスについて学びます。

フィールドワーク先である豊明市の地域包括ケアへの先進的取組は、厚生労働省のサイトでベストプラクティスの一例として紹介されています。

**地域包括ケア「豊明モデル」けやまいきいき プロジェクト**

> <https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/000361948.pdf>

### ③ 他市町村・講師とのネットワーキング

オフサイトミーティング（懇親会）など、講師や他市町村からの参加者との親睦を深める機会を提供します。

### ④ 伴走型支援プログラムのノウハウに基づく支援

昨年度、市町村向けに総合事業等の推進を目的とした“伴走型支援プログラム”を実施したノウハウを基に、市町村の実情に応じた支援を行います。

#### 昨年度の伴走型支援に参加した市町村の声

- わがまちの優先課題がわかった
- 業務のメリハリがつくようになった
- 関係者が主体的に動くようになった 等

2018年度伴走型支援プログラムの実施内容はこちらをご覧ください。



## ● 参加対象

[https://www.nttdata-strategy.com/services/lifevalue/docs/h30\\_04\\_2\\_jigyohokokusho.pdf](https://www.nttdata-strategy.com/services/lifevalue/docs/h30_04_2_jigyohokokusho.pdf)

### 主参加者（全日程を通して参加いただく方。各市町村から1名）

東海北陸管内の市町村職員で、総合事業等に係る課題設定や解決策の推進を実行する担当者  
プログラム終了後も継続して事業推進に関わる方

#### 同行者

本プログラムは、実際の市町村事業の推進が目的のため、プログラム各テーマに応じ、下記のような関係者が**同行者**として1回につき2名まで一緒に参加することが可能です。

例) ● 庁内関係者 ● 部署上長 ● 委託先等外部協力者（地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーター、協議体関係者、支援人材等）

## ● プログラム（予定）

1回2日間 全5回（2019年9月～2020年1月）

回	テーマ／日時	ねらい	内 容
1	<b>地域づくりを考える</b> 9月12日（木）9:30～ 9月13日（金）17:00	地域づくりが求められる背景と 考え方、市町村の役割につ いて理解する	【講義・ワーク】 地域づくりの哲学と行政の役割 自立支援のあり方 【フィールドワーク】 豊明市多職種ケアカンファレンスの視察
2	<b>わがまちの目指す姿・ 課題を検討する</b> 10月8日（火）9:30～ 10月9日（水）17:00	わがまちの目指す姿を考える 「課題とは何か」「どう設定す るか」を理解し実践する	【講義・ワーク】 目指す姿と現状分析 課題とは・わがまちの課題検討 【フィールドワーク】 豊明市が設定した課題とは
3	<b>地域資源を活かした 解決策を検討する</b> 11月13日（水）9:30～ 11月14日（木）17:00	わがまちの課題を設定し、解 決に向けた地域資源の活用 策を検討する	【講義・ワーク】 地域資源の活用方法 課題解決のための仕組みづくり・場づくり 【フィールドワーク】 豊明の課題解決に向けた取組
4	<b>課題解決策を練る</b> 12月17日（火）9:30～ 12月18日（水）17:00	参加市町村の課題解決に 向けた取組を議論し、実践 力を磨く	【講義・ワーク】 参加市町村のケーススタディ 計画策定と目標の設定
5	<b>成果報告・振り返り</b> 1月30日（木）9:30～ 1月31日（金）17:00	短期的課題解決と次年度の アクションについて助言を受け、 実行力を高める	・ 振り返りと今後のアクション検討 ・ 修了式

※各回の1日目は18時までには終了し、その後オフサイトミーティング（懇親会）を予定しています。

## ● 講師・アドバイザー陣（予定）



三菱UFJリサーチ  
&コンサルティング  
上席主任研究員

**岩名 礼介 氏**

地域包括ケア研究会事務局  
統括。都道府県の市町村支  
援事業や地域支援事業におけ  
るコンサルティングに従事。  
中央大学大学院客員教授。



東北子ども福祉  
専門学院  
副学長

**大坂 純 氏**

仙台市職員、仙台白百合女  
子大学人間学部教授を経て  
現職。著書に「生活支援コー  
ディネーターと協議体」「どこでも  
誰でもできる地域づくりハンド  
ブック」等がある。



PHP総研 主席研  
究員 兼 立教大学  
院 特任教授

**亀井 善太郎 氏**

日本興業銀行、ボストン・コン  
サルティング・グループ、衆議院  
議員等を経て現職。民間から  
の政策立案、社会変革の担い  
手人材の育成に取り組む。



埼玉県立大学  
教授

**川越 雅弘 氏**

複数の民間企業、国立社会  
保障・人口問題研究所を経て、  
2017年より現職。現在、複数  
の市町村の支援に従事してい  
る。



日本総合研究所  
創発戦略センター  
シニアスペシャリスト

**齊木 大 氏**

現職にて介護保険及びケアマ  
ネジメントに関わる政策形成や  
サービス創出に関する調査研  
究・コンサルティングに従事。



藤田医科大学  
講師・地域包括  
ケア中核センター

**都築 晃 氏**

博士（医学）、理学療法士。  
藤田医科大学地域包括ケア  
中核センター所属。  
2017～2018年に愛知県介  
護予防活動普及展開事業ア  
ドバイザーを務める。



医療経済研究  
機構  
主任研究員

**服部 真治 氏**

1996年八王子市入庁。  
介護保険課主査、高齢者いき  
いき課課長補佐等を経て、  
2014年厚生労働省老健局  
総務課課長補佐。2016年よ  
り現職。



NTTデータ経営  
研究所  
マネージャー

**大野 孝司 氏**

経営コンサルティング、ヘルスケ  
ア関連会社役員を経て現職。  
保険者評価指標の策定や総  
合事業等の実態調査・伴走型  
支援に取り組む。

※上記の他、地域づくりに積極的に取り組む市町村の方にアドバイザーとして参加していただきます。

# 応募要項

※エントリーの前に必ずお読みください。

## 参加条件 プログラムの受講と並行して、実際の事業を推進すること

本プログラムは市町村の実際の事業を推進することを目的としています。参加市町村の皆様にはプログラムの受講と並行して、地域分析や関係者との対話など、事業推進にあたって必要なことに取り組んでいただきます。プログラムでは各回宿題を出し、その取組を支援します。

(宿題例：「地域課題を考える」「地域資源を見つける」「アクションプランを実行する」)

## プログラムの全日程に参加にできること

※主参加者が参加できない日程がある場合は事前にご相談ください。

**申込方法** 別添のエントリーシートに必要事項を記入の上、件名を「支援プログラム参加申込み【市町村名】」として、事務局アドレス [chikeasupport@nttdata-strategy.com](mailto:chikeasupport@nttdata-strategy.com) までメール添付にてお送りください。

## 申込期限 2019年7月8日（月）正午必着

応募多数の場合は、市町村の特性、抱える課題、参加理由等を考慮の上、本事業の検討委員会にて選考し、選考結果を7月中旬～後半にエントリーシート記載のメールアドレスへ連絡します。

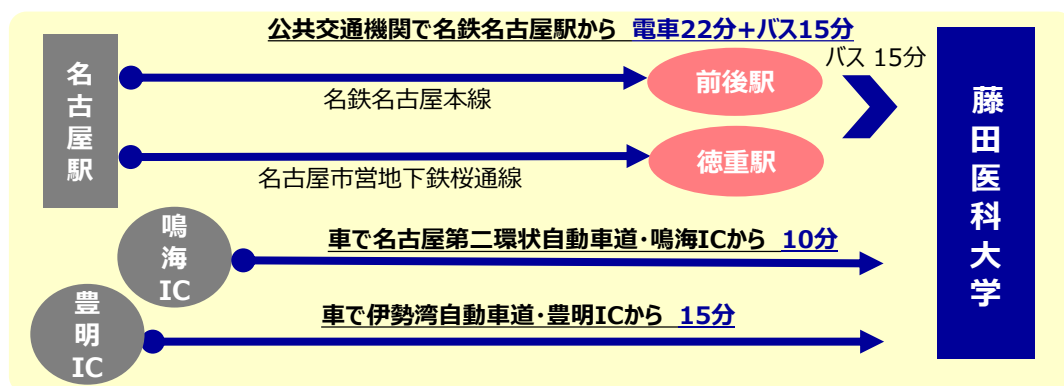
※参加確定した後は、原則として辞退できません。

## 参加費 参加費無料 主参加者（1名）の旅費を規定範囲内で支給

**旅費** ※同行者の旅費は対象外 ※昼食代、懇親会費は個人負担となります。

## 定員 12市町村

**会場** 藤田医科大学（愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98）



- 注意事項**
- ・プログラム内で公開された情報は、原則として市町村名を特定しない形で報告書等に記載させていただきます。その際に情報を特定する必要がある場合には、個別に相談させていただきます。
  - ・プログラム内で知り得た情報や入手した著作権物の取り扱いについて、別途ご案内いたします。
  - ・応募時にご提出いただいた個人情報は、実施主体である「株式会社NTTデータ経営研究所個人情報保護方針(<https://www.nttdata-strategy.com/information/policy.html>)」に則り、適切に管理・利用します。
  - ・主参加者の旅費は、別紙の規定に準じて支給します。

問い合わせ先（事務局） NTTデータ経営研究所（担当：斎藤、野村、佐藤、大野）  
メールアドレス：[chikeasupport@nttdata-strategy.com](mailto:chikeasupport@nttdata-strategy.com)  
TEL：03-5213-4110（月～金 9:30から18:00）